

大教会の諸活動

▼月定例行事▲

- 4日 岡心勇隊佐賀地区
- 8日 岡心勇隊奈良中和
- 9日 岡心勇隊五條橋本(あやの台)
- 13日 岡心勇隊八幡地区
- 15日 大教会ひのきしん(道弘)
- 18日 岡心勇隊大阪地区
- 21日 大教会ひのきしん(相嘉)
- 22日 祭典準備ひのきしん
- 大教会ひのきしん (表野・飛鳥川・岡菽)
- 22~23日 大教会役員・直属教会長連絡会議
- 婦人会伏せ込みひのきしん
- 23日 大教会月次祭
- 23~26日 婦人会詰所ひのきしん
- 24日 大教会ひのきしん(東松浦・西北)
- 25日 詰所ひのきしん日
- 26日 本部月次祭
- 30日 岡心勇隊姪浜会場
- 第一日曜日 おぢば伏せ込み団参(午前中)

▼その他の行事予定▲

- 7月 29~31日 KOG関連行事
- 8月 8~12日 学生生徒修養会(高校の部)
- 9月 1~30日 にをいがけ強調の月
- 5日 岡夫教会秋季霊祭
- 23日 家族参拝デー
- 24日 おつとめ勉強会
- 28~30日 全教一斉にをいがけデー

教務報

- ◆大教会人事
- ・婦人会岡支部委員(4月23日付)
 - 南 森井幸子
 - 東松浦 吉田百合子
 - 西北 森川誠子
 - 眞世 森井みどり
 - 表野 蓮池恵理子
 - 飛鳥川 出口美樹
 - 福門 村田篤子
 - 薬院 清水ゆう子

- ◆教養掛
- 7月 西大阪 丸田真久
 - 8月 眞世 森井道典
- ◆別席願(4月16日~6月15日詰所受付分)
- 忍海 岡橋アンディ優太
 - 東松浦大阪 中畔彪雅
- ◆おさづけの理拝戴願
- (5月16日~6月15日詰所受付分)
 - 岡 吉田一華
 - 岡道 千原理騎
 - 岡村 浦岡文恵
 - 南阿太 長谷川有沙
- ◆須光 光武幸代
- 道弘 高野知永子
 - 岡女子青年委員長(4月23日付)
 - 南阿太 芝田沙姫
 - 岡女子青年副委員長(4月23日付)
 - 西北 森川実咲
 - 飛鳥川 出口奈々
 - 岡女子青年会計(4月23日付)
 - 表野 蓮池理栄
 - 岡詰所副主任(4月23日付)
 - 岡 吉田直弘
 - 青年会岡分会委員(5月23日付)
 - 東松浦 吉田忠実
 - 眞世 森井真大
 - 福門 村田大亮

岡大教会連絡報

立教一八八五年 七月号(六月二十三日発行)

岡大教会ホームページ



oka.or.jp

発行所 高市郡明日香村岡 395
〒634-0111

天理教岡大教会

電話 (0744)54-2002
FAX (0744)54-3889
E-mail info@oka.or.jp
185.6.23 / 042

POINT

今月のメッセージ 「庭に花が咲いてるよ。さあ楽しんで」



梅雨に入るとアジサイもダリヤもユリも、いろんな花が咲き誇ります。結構な時間をかけて手入れをして、やっと咲いたけれども、ひと月ももちませんね。貧乏性な私はそんな思いもします。でもやっぱりきれいです。咲いている間に何度でも見て、何度も楽しみましょう。きれいだね、ありがとう、って言ってあげましょう。

花だけではなく、青空も白い雲も澄んだ海や川、緑の中をそよ吹く風、私達の周囲には楽しめる物が溢れています。親神様が人間をお造りになった目的

は、「子供である人間が陽気ぐらしするのを見て共に楽しみたかった」と言うことですから、陽気ぐらしとは楽しんで生きることです。

教祖は、いつも人をたすけること、人を喜ばせること、人を育てることを好んでなさっています。つまり楽しんで人のために心を尽くし、身を働かせて居られるのです。

梅雨の時期、心にも潤いを持って、楽しめる世界に感謝、親神様のお計らいに感謝です。

(吉田)

TOPIC

昨年9月から順次開催されてきた、婦人会岡支部(吉田陽子支部長)主催の「鳴物練習」。琴、三味線、胡弓の女鳴物に重点を置き、岡支部委員を対象に実施されている(写真)。

この「鳴物練習」の主な目的は、講師の育成。「修養科生への指導をはじめ、各教会などで女鳴物の練習を行う際に、講師として派遣できるように研鑽を積んでいる」という。

修養科生の世話取りは、基本的には教養掛が担当し、おてふりや男鳴物の練習にも当たっている。一方で、普段手に取る機会のない女鳴物の指導は、長年にわたって婦人会が担当してきた。

講師育成の鳴物練習を実施

婦人会岡支部

第3回目となった今回は、胡弓がテーマ。まず初めに、棹や弦、駒といった胡弓全体の扱い方や各所の役割について説明を受け、重要なポイントとはメモに残していく。その後、持ち方や構え、座り方、弦に当てる弓の角度など細かい注意点を学び、実際に全員で弾いてみる。

この「鳴物練習」は、今回で一旦終了。今後は、九州ブロックや関西ブロックで広く練習する機会を設け、今回受講した「講師」を派遣する予定となっている。



自ら求めて鳴物練習



3月に開催された「少年会岡団総会」後、大教会の子供たちのおつとめに向かう気持ちが変わった。「総会」で勤めた鳴物への興味が強くなり、さらなる成長を目指して、夕づとめ前の時間に練習するようになった。

毎月恒例ちばへの伏せ込み



毎月、おちばへの伏せ込みとして実施している「伏せ込み団参」。3月から5月は雨天が続いたため、久しぶりに西の第2広場（旧足達邸）で除草作業を実施。老いも若きも、45人が参加し、ひのきしんの汗を流した。

詰所倉庫内の整理を実施



詰所本館1階のバリアフリートイレ改修工事に伴い、壁の一部を取り壊した1階倉庫。これを機に、倉庫内の物品の整理を実施。床の拭き上げや不要物品の処分など、大がかりな作業を行った。

活発に活動する「盛華会」



コロナ禍でも、毎月欠かさことなく活動してきた「盛華会」。この日は、再開された鼓笛活動の合間に、参加した子供たちのお母さんで臨時的「盛華会」を実施。毎月発送している「バースデーカード」を作成した。

ぜひ、友達登録してください

天理教岡大教会
LINE 公式アカウント

様々な情報を配信します。
ぜひ友達登録してください！



▲久しぶりの鼓笛活動に、各パートを一新。一からの練習に、集中して取り組む。

鼓笛活動

鼓笛活動再開にワクワク♪ 響くメロディーで心も明るい雰囲気

新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、約2年間休止状態となっていた鼓笛活動。社会全体におけるコロナ対策の緩和と、教内の行事が徐々に開催されつつある状況を鑑み、5月から鼓笛活動が再開された。

午前10時、大教会長様を芯におつとめを勤める子供たちの表情は真剣そのもの。少し緊張した面持ちの子もいるが、久しぶりの鼓笛活動にワクワクしている様子がうかがえる。

今回は2年ぶりの再開ということもあり、担当する楽器を一新。参加する子供たちからは、「早く鼓笛がしたくて、ずっとこの日を待っていた」や「チャレンジしたい楽器があるけど、希望が叶うか不安。でも、鼓笛が大好きだから、一生懸命頑張る」と、鼓笛の再開を待ちわびていた声が多く聞かれた。

担当楽器が発表されると、子供たちは初めて触る楽器に不安を抱えつつも、スタッフによる丁寧な指導に、いつしか集中した表情で練習に取り組む。鼓笛のメロディーと子供たちの笑い声が響く大教会は、明るい雰囲気になりました。

▼▶ 2年ぶりの開催に少し緊張感に包まれたが、練習とひのきしんを通して雰囲気も和やかになっていく。

